

高等学校 令和5年度（1学年用） 教科 国語 科目 現代の国語

教科：国語 科目：現代の国語

単位数：2 単位

対象学年組：第 1 学年 1 組～ 6 組

教科担当者：（1組：齋藤/熊澤） （2組：岡村/熊澤） （3組：川井/熊澤） （4組：今中/熊澤） （5組：川井/今中） （6組：今中/川井）

使用教科書：（新編 現代の国語 第一学習社）

教科 国語 の目標：

- 【知識及び技能】 国語の知識及び機能を得得するための言語活動の充実。
- 【思考力、判断力、表現力等】 「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」の各領域において、論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。

- 【学びに向かう力、人間性等】 言葉を通して積極的に他者や社会に関わったり、ものの見方、感じ方、考え方を深めたりしながら、言葉がもつ価値への認識を深めようとしているとともに、読書に親しむことで自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもつ。

科目 現代の国語 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
実生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	言葉がもつ価値への認識を深めると共に生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域			評価規準	知	思	態	配当 時数
			話	書	読					
1 学 期	「未知」はいくらでもある/ 言語活動 書き方の基礎レッスン① 【知】話し言葉と書き言葉の特徴を理解する 【思】内容や構成、論理的に捉え、要旨を把握する方法を学ぶ【学】本文をもとに自ら考え、表現しようとしている	・指導事項 語句知識、読解、発表など ・教材 教科書、便覧、プリントなど ・一人1台端末の活用 情報検索、資料収集、発表準備など		○		(知)本文中の主な常用漢字や語句・語彙、また文章の効果的な組立て方や接続の仕方について、その構造や特色を理解している (思)実体験を踏まえ提示された筆者の捉え方を理解し自分に照らして考えを深めている (態)積極的に自分の体験から適切な題材を決め、文章にまとめようとしている	○	○	○	12
	定期考査					○	○		1	
	臆病な詩人、街へ出る/ 言語活動 書き方の基礎レッスン② 【知】言葉には認識や思考を支える働きがあることを理解する 【思】自分の考えや事柄が的確に伝わるように根拠の示し方や説明のしかたを工夫する方法を学ぶ 【学】本文をもとに自ら考え、表現しようとしている	・指導事項 語句知識、読解、発表など ・教材 教科書、便覧、プリントなど ・一人1台端末の活用 情報検索、資料収集、発表準備など	○			(知)主張と根拠、個別の情報と一般化された情報、推論の仕方など、情報の扱い方について理解している (思)「言語」の機能を理解し、言語表現の多様性について考えを深めている (態)写真を伴う文章を読み、積極的に解釈したことをまとめて発表しようとしている	○	○	○	12
定期考査						○	○		1	
2 学 期	「弱いロボット」の誕生/ 言語活動 書き方の基礎レッスン③ 【知】語句の量を増やし、語彙を豊かにする 【思】文章に含まれている情報を相互に関係づけながら内容を解釈する方法を学ぶ 【学】本文をもとに自ら考え、表現しようとしている	・指導事項 語句知識、読解、発表など ・教材 教科書、便覧、プリントなど ・一人1台端末の活用 情報検索、資料収集、発表準備など		○		(知)本文中の主な常用漢字や語句・語彙、また文章の効果的な組立て方や接続の仕方について、その構造や特色を理解している (思)本文に書かれた筆者の意図を理解し、ロボットや社会と人間の関わりについて考えを深めている (態)本文と動画を比較して、分かったことを積極的に発表しようとしている	○	○	○	12
	定期考査					○	○		1	
	イースター島になぜ森がないのか/ 言語活動 待遇表現 【知】語句の量を増やし語彙を豊かにすると共に例示などの修辭を理解する 【思】調べたことを整理して説明資料にまとめる方法を学ぶ 【学】本文をもとに自ら考え、表現しようとしている	・指導事項 語句知識、読解、発表など ・教材 教科書、便覧、プリントなど ・一人1台端末の活用 情報検索、資料収集、発表準備など		○		(知)主張と根拠、個別の情報と一般化された情報、推論の仕方など、情報の扱い方について理解している (思)自分の考えや事柄を的確に伝え、読み手の理解が得られるように文章の構成や展開を工夫している (態)文章の解釈を踏まえて持続可能性についての理解を深め積極的に考えを発表しようとしている	○	○	○	14
定期考査						○	○		1	
3 学 期	論理分析 対比「間」の感覚 【知】情報と情報との関係を理解する 【思】文章に含まれている情報を相互に関係づけながら文章の構成や論理的展開を的確に捉え要旨を把握する方法を学ぶ 【学】本文をもとに自ら考え、表現しようとしている	・指導事項 語句知識、読解、発表など ・教材 教科書、便覧、プリントなど ・一人1台端末の活用 情報検索、資料収集、発表準備など		○		(知)「対比」の扱い方を理解している (思)論理構成を把握し、情報を相互に関係づけながら書き手の意図を解釈している (態)「対比」「具体と抽象」「推論」などで展開する評論を粘り強く読み、学習課題に沿って論理の展開を分析しようとしている	○	○	○	10
	図書委員会のポスターの掲示内容を検討する 【知】情報の妥当性や信頼性の吟味の仕方を理解し、活用する 【思】異なる形式で書かれた複数の文章を読み、理解したことをまとめる 【学】本文をもとに自ら考え、表現しようとしている	・指導事項 語句知識、読解、発表など ・教材 教科書、便覧、プリントなど ・一人1台端末の活用 情報検索、資料収集、発表準備など		○		(知)与えられた資料と会話文を関連づけながら、課題に即した必要な情報の読み取り方を理解している (思)自分の考えや事柄が的確に伝わるように、表現のしかたを工夫する方法を理解している (態)異なる形式で書かれた複数の文章を粘り強く読み、理解したことを学習課題に沿ってまとめようとしている	○	○	○	6
	定期考査						○	○		合計 70